生活支援コーディネーター通信

生活支援体制整備事業

生活支援サービス「おたがいさまネット中家村」がスタートしました！

中家村地区 当町初の生活支援サービス

住み慣れた地域で安心して生活が送れるよう、ご近所のちょっとしたお困りごとを手助けする「おたがいさまネット中家村」が、中家村地区でスタートしました。この会は、新しい組織としては当町で初めて立ち上がった生活支援サービスの活動で、活動内容は草むしりや電球交換、ゴミ出し等暮らしの中のちょっとしたお困りごとを地域のサポーターさんが手助けするものです。

手作りの「サポーター登録証」

発会式の様子

活動を担うのは調整役である6名のコーディネーターと38名（3月末現在）のサポーターです。「無料だとかえって遠慮してしまい利用しにくいだろう」、「活動に対して気遣いをせず気軽に利用してもらいたい」と、あえて有償にしました。

検討WG準備委員会での様子

サポーター登録してくださった方の中には40代の方もいられます。「これから高齢社会になり認知症の方も地域に増えてくると思う。若い世代にも関心をもってもらい、なるべく住み慣れた地区で長く住み続けられるよう住民同士で支え合えるようなしくみができればいいと思っている」と立ち上げの中心となった小川会長は発会式で挨拶されました。

中家村地区全戸に配布されたパンフレット

円中地区（友愛チームの取り組み）「長生会生活支援推進員」の活動

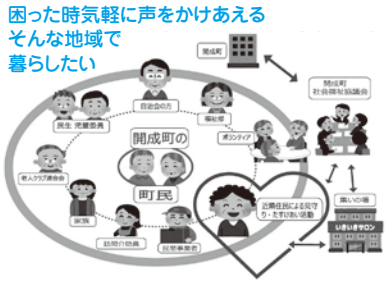
開成町では中家村地区「おたがいさまネット中家村」の他に、円中地区でも生活支援サービスの活動が推進されています。

視察研修の様子
（大和市社協／花みづきの会）

新しく組織を立ち上げた中家村地区とは違い、老人クラブの会員相互の「友愛活動」を、長生会生活支援推進員による「生活支援活動」とし、見守り・声掛け活動を強化することで会員を支えようと活動しています。もともと友愛訪問として行っていた友愛チームの見守り活動を、訪問回数を増やし活動を進めていったところ、見守る側と見守られる側とに強い信頼関係が生まれ、最近は簡単な電球の交換や植木の移動なども頼まれる様な生活支援サービスにつながっています。そんな活動を知った他の会員の方からも、賛同の声が上がりお手伝いしたいとの申し出も出ています。

生活支援サービス活動とは…

生活支援サービス活動のイメージ



社協は平成28年度より、町から生活支援体制整備事業（生活支援コーディネーター配置）を受託しています。

隣近所の住民同士で支え合う“生活支援サービス活動”を推進することで、地域の方々の関係がより近いものとなり、気軽に声をかけやすく、お互いに住みやすい地域づくりをめざしています。

※生活支援活動にご興味のある方は社協事務局（82-5222／田中・高橋）までお気軽にお問い合せください。